

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理
事務事業名	施設運営費(磁器食器の導入)		事業コード	13110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	13年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉施設における給食業務の指導について

## 3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
施設運営費は公立保育園の管理運営に必要な事業全般にわたっているため、磁器食器の導入事業を評価対象事業として抽出したうえで評価を実施した。 食習慣の形成という大事な時期に一日の大半を過ごす保育園生活のなかで、給食の料理の内容ばかりでなく、食欲をそそる盛り付けや、五感全てで食事を味わうことを子供達に身に付けてもらいたいと考え、従来のポリプロピレン食器から強化磁器食器に変更し、家庭に近い温かみのある食事をめざす。	公立保育所入所児童
	対象数 約2400人
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
食器検討会の開催 3回 磁器食器の導入(市内18園中6園) 食器導入についての打ち合わせ 1回	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 強化磁器食器の導入
	計画年次 13年度～15年度
	平成13年度より年に6園ずつ磁器食器の導入を進める

## 4 評価指標

指標名	磁器食器導入率
指標式	磁器食器導入園数/公立保育園数×100
指標設定の意図	市立保育園にどの程度磁器食器が導入されたか達成率を示す。

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 33	b 33	67	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		5,139	5,090	5,330	
	人員・時間数		134	134		
	人件費		560	560		
	その他経費		0	0	0	
	合計	0	0	5,699	5,650	5,330
特定財源			0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{33.3}{33.3} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	計画通り導入が進んでおり、子ども達の反応も良い。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	家庭での食事の乱れが問題となっているなかで、保育園での食事は大きな割合を占めつつある。家庭と同じ磁器食器を用い、食事の温かさ、冷たさを感じたり、食器の扱い方を学ぶ等の場として必要度が高まっていると考えられる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	ポリプロピレン食器は3年に一度全て買い換えを行っているが、強化磁器食器においては破損分のみでの買い替えで対応できるので、経済効果は高いと思われる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適切か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	公立保育園の保育環境の整備・充実をすすめていく立場として、食環境を整えることは必要である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	ポリプロピレン食器に比べ重さがあり、割れる危険性もあるが、その分丁寧に扱うことを覚えてきている。ポリプロピレン食器では伝わりにくかった料理の温度差も直接手に伝わり、食欲を増す要因になっている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	磁器食器を導入することによって、より家庭に近い保育の実現へつながり、より良い保育環境がととのえられる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 公立保育園全園へ磁器食器を導入することで、磁器食器を通しての食教育などを積極的に行っていく必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 現在は食器検討会で決定した磁器食器を全園で使用する予定であるが、今後 新製品等を検討することにより、コスト削減の余地はあると考えられる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	上記(1)～(6)を総合して考えると、保育環境の充実に効果の高い事業だと考えられるので、平成15年度までに、全園に導入を完了したい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--